

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 17 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	27.5	3.9 kPa g	A系： -* vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	35.7	6.43 kPa g	A系： 0.05 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m ³ /h	34.0	0.22 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%

※作業に伴いデータ欠測

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	26.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	26.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	24.9 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	7/10 10:28 ~ 7/17 10:02 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	停止中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。

- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/6/5～6 2号機原子炉格納容器内監視計器の再設置作業を実施。
6/6～ 計器の健全性が確認できたことから、温度計・水位計の測定を開始し、変動状況等を1ヶ月程度監視して妥当性評価を実施。
- 7/17 0:00～ 1ヶ月程度の温度トレンドにより、注水温度や外気温度の変動に応じた挙動を示していること、および指示も安定していることから、新設温度計は本来指示すべき値を示していると判断。このことから、新設温度計(TE-16-007、008)を実施計画3章第1編第18条に定める原子炉の冷却状態を監視する監視温度計器として選定し、運用を開始。
- ・H26/6/25～7/8 2号機トラス室壁面(東壁面北側)の貫通部を対象に、カメラ映像取得を目的とした「水中遊泳ロボット」、超音波ソナーによるドップラ計測画像取得を目的とした「床面走行ロボット」の実証試験を行うため、調査装置投入に向けて2号機原子炉建屋1階北東エリアの床面の穿孔作業を実施。
7/16～ 準備作業が終了したため、2号機トラス室壁面(東壁面北側)調査装置の実証試験を開始。
- ・H26/7/6 11:10 頃 5号機補機冷却海水系^{*1}配管の弁付近から海水の漏えいが発生。
漏えいした海水が被水した炉心スプレイ系ポンプ(A)室空調機の電動機の振動が高かったことについて、その後の調査の結果、当該空調機の振動が高くなった原因は、漏えいした海水がファンケーシング内に浸入し、滞留した状態で空調機を起動したことにより、電動機軸受に過大な負荷が掛かったため、負荷側の軸受が不良(焼き付き)に至ったものと推定。当該空調機については、電動機の軸受交換を行ったうえで確認運転を実施し、異常がないことを確認。
^{*1} 原子炉やタービンで使用する冷却水を冷やすための海水

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上